

2024年7月25日  
Kudan株式会社

## 顧客製品化のペースが今期から加速、 前期・前々期実績を大きく上回ることが確実な見込み

Kudanは、独自の人工知覚技術の採用による顧客製品化が加速し、前期・前々期実績を大きく上回ることが確実となったことをお知らせします。

Kudanは、人工知覚の深層技術に特化したソフトウェアライセンス事業を展開しており、顧客製品化のマイルストーン（顧客によるKudan技術の採用と製品販売計画が決定すること）が各案件における進捗の重要な指標となっております。

これまで、次世代のロボティクス（自動運転を含む）とデジタルツインを開発する顧客を支援してまいりましたが、前々期（23年3月期）を皮切りに顧客製品化が開始し、前々期（23年3月期）4件、前期（24年3月期）4件と顧客製品化を達成してきました。これに対し今期（25年3月期）は、これまで蓄積してきた開発案件の着実な進捗が寄与し、既に前期・前々期を上回る5件の顧客製品化を達成し、今後の継続的な顧客製品化により通期では過去実績を大きく上回る見込みです。

### 顧客製品化 一覧

23年3月期	24年3月期	25年3月期	
Whale Dynamic	Dates Metron	中国ロボット企業	
Intel	Inertial Lab	米国ロボット企業	
UCS	Avestec	Vecow	
Movel AI	Terra Drone	米国ロボット企業	
		Squad Robotics	

## 【Kudan株式会社について】

Kudanは、人工知覚(AP)のアルゴリズムを専門とする深層技術の研究開発企業です。人工知覚(AP)は、人工知能(AI)と相互補完する技術として、機械を自律的に機能する方向に進化させるものです。現在、Kudanはロボティクス・デジタルツイン・自動運転などを中心に幅広い次世代ソリューションに対して技術ライセンスを提供しています。

詳細な情報は、Kudanのウェブサイト(<https://www.kudan.io/jp/>)をご参照ください。

## ■会社概要

会 社 名:Kudan株式会社

証券コード:4425(東証グロース)

代 表 者:代表取締役CEO 項 大雨

■お問い合わせ先は[こちら](#)